

産学連携による事業承継ガイドブックの制作について

京都信用保証協会（理事長：麻生 純）は、経営の専門知識やノウハウを必要とされる中小企業者に対する経営支援に積極的に取り組んでおります。

近年、中小企業経営者の高齢化が進展し、事業承継が全国的な課題となっています。当協会では事業承継関連制度の創設や、65歳以上の経営者の方を対象とした企業訪問活動を強化するなど、事業承継支援の取組みを進めていますが、事業継続が可能にもかかわらず、「日々の経営で精一杯」「事業承継について誰に相談すればよいのかわからない」等の理由で事業承継が先送りにされているのが実態です。

こうした背景を踏まえ、当協会では後継者問題を抱える京都府内の中小企業者の方に事業承継のイメージを深めていただくため、事業承継に関する様々な問題に対して各分野の専門家と連携した具体的事例を紹介するとともに、当協会の事業承継支援について取り纏めた「経営者のための事業承継ガイドブック」を制作しました。

なお、事業承継に関する冊子の制作は全国の信用保証協会ですべて初めての取組みとなります。

本冊子はマンガ調となっており、65歳の酒造会社経営者が、入院をきっかけに事業承継について考え始めるところからスタートします。事業承継について漠然としたイメージしかなく、どのように事業承継を進めていけばよいのか悩む経営者が、各分野の専門家や事業引継ぎ支援センター、当協会のサポートを受けながら後継者である息子とともに事業承継に取り組むというストーリーとなっており、気軽に手に取って読んでいただける内容となっています。

本冊子をご覧になることで、後継者問題を抱える京都府内の中小企業者の方に事業承継のイメージを深めていただき、円滑な事業承継の支援に努めてまいります。



※本冊子は過年度に制作した「京都バリューアップサポート専門家派遣事例集」・「創業バリューアップサポート」（いずれもマンガ調の冊子）同様に、嵯峨美術大学・嵯峨美術短期大学と連携して制作しております。